

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	資質・能力 育てたい	基本施策 との関わり	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点
方針・重点 ・持続可能な社会の創り ・ICT教育・ブレゼン教育 ・高山の未来を担う人材の育成	⑤安全・安心で快適な学校環境の整備 ④DXをとり入れた教育の推進 ③学校・地域・関係団体等との協働による郷土教育の推進 ②子どもの自己実現を支える教育の推進 ①豊かな心、健やかな体、確かな学力を育み、生きて働く力を身に付ける教育の推進	心身ともにたくましく、進んで実践する子 やさしい子、かんがえる子、やりぬく子	仲間と関わり合い、試行錯誤しながら最後まであきらめずに挑戦する力	一人ひとりに合った安心できる居場所の実現	①「一人ひとりとはみんな違う」ことの理解促進 ⑤ ②常に新たな一歩を踏み出す活動の充実 ①4ステージにおける「なりたい自分」の振り返りと新たな目標設定の見届け ② ①一人ひとりの実態に合わせた対応とスクールワイドPBS活動の推進 ② ⑤	1)どの学級でも「相互に違うことが当たり前である」ことを指導し、相互の良さを認め合う活動を日常的に行う。「自分には良いところがある児童」90% 1)児童会・なかよし活動・学級活動等において、より良い活動になるように児童に「考えさせる」活動や指導を行う。「前年踏襲にならず活動にひと工夫を入れた」80% 1)ステージごとに、「なりたい自分」について振り返りと目標設定の見届けを確実に行う。「ステージごとの振り返りを次への指導に生かした」80% 1)ステージごとに決めた学級の目標について、取り組んでいる個人や学級の良さを積極的に褒める。「児童の良さを積極的に褒めて指導した」90%		
				一人ひとりに合った学びの実現	①「できた」「分かった」と実感するための既習内容定着と課題設定の工夫 ①議論につなげるための明確な視点をもった「教師の一言」の精選 ①ICTの効果的な活用と一人ひとりの定着の見届け ④ ①学習したこと、自分の考えを言葉で表現する場の設定と指導 ②	1)必然性があり、児童の思考にそった課題を設定する。「授業が分かる」児童85% 1)授業には議論につなげる発問や指示を吟味して授業に臨む。「授業がおもしろい」児童85% 1)効果的な交流方法を実施する、一人ひとりの学習の定着を見届けるために、ICTを授業に活用する。 2)ICT活用のための職員研修を実施する。 1)単位時間、単元のどこかで、自分の言葉で表現する場を位置づけ、自信をもって話ができるように支援する。「自分の考えを積極的に伝えられた」児童80%		
				子どもと教員の命を守る職員	②いじめ・差別・暴力を絶対に許さない体制づくり ⑤「子どもたちのために」と「自分の生活やキャリアアップ」を両立した温かい職場環境	1)事案に対してチームで対応し、組織的に指導を迅速確実に行い、人権意識の向上に努める。職員評価100% 2)日頃から「みんなが一人ひとり違う」ことを理解し、互いの良さみつけを日常的に行う。児童評価90% 3)「職員が元気」を合言葉に、各職員が互いのことを気にかける職場を意識した言動を行う。職員評価90%		
				郷土愛・地域連携	①郷土愛を育む系統性を踏まえた「総合的な学習の時間」「生活科」の充実 ③家庭・PTA・地域との連携を生かした地域とともにある学校	1)前例踏襲でなく、少しでも児童の課題意識を耕せるように学習過程を工夫しながら、丹生川の良さを主体的に追究する総合的な学習の時間を実施する。児童の充実度80% 2)すくなく子育て教育連携会議やPTA、子育てサロンを活用し、地域や保護者の声を聞き、丹生川小の取組について理解を広める。		